

なら

植防ニュース

2023年度 農薬展示圃成績検討会

12月12日に奈良県農業研究開発センター交流・サロン棟に関係者38名が参集し、13剤・17件の試験成績が検討された（2面に概評掲載）。

始めに、水稻殺虫剤のアレス箱粒剤が検討された。慣行区と比べ同等の効果を示し、薬害もなく普及上の問題は無いと考えられた。有効成分のオキサゾスルフィルを含む箱粒剤は、2022年度の展示圃試験でも検討され高い効果を示した。本成分は1成分で広範な害虫に効果を示すため、特別栽培米での利用も期待される。また、病害虫防除所より、鹿児島県でコブノメイガに対するクロラントラニリプロールの効果低下が報告されていると情報提供があった。県内では未確認だが、今後注意が必要である。

次に除草剤は7剤が検討され、全てがA評価となり、慣行区と比べ効果や薬害の面で普及上の問題は無いと判断された。今年度は、新規拡散型製剤の楽粒やドローン散布の試験が行われた。楽粒の試験では、7aのほ場で周縁部2カ所から手散布を行ったが、メーカー担当者から7aの場合、1カ所からでも十分拡散すると補足があり、作業がより省力化できる。

一般社団法人奈良県植物防疫協会

〒633-0046 桜井市池之内130-1

奈良県農業研究開発センター内

TEL:0744(47)4861

FAX:0744(47)4862(専用)

HP: <http://www.narasyokubo29.sakura.ne.jp/>

目次

◎農薬展示圃成績検討会	1
◎農薬展示圃調査表 成績概評	2
◎生態と防除研究会	3
◎登録失効になった農薬	4
(FAMICの失効農薬情報より)	

最後に野菜・果樹では、いちごの殺菌殺虫剤が1剤、殺菌剤が1剤、前年度未了分の殺虫剤が1剤、かきの殺菌剤が1剤、殺虫剤が2剤の計6剤が検討された。いちごのハダニ類に対する試験では、2剤とも対照薬剤と同等の効果を示した。ピカイチは気門封鎖剤で、薬剤抵抗性の発達したハダニにも効果を発揮するため、活用が期待される。かきの炭疽病では、多～甚発生の2ほ場でスクレアフロアブルの試験を行い、対照薬剤と比べ同等若しくはやや優れる効果を示した。どちらのほ場も、周辺地も含めて炭疽病の発生が多く、次年度以降の更なる発生拡大を危惧する声が上がった。かきのカイガラムシ類のトランスフォームフロアブルの試験では、対照薬剤と比べ優れる効果を示し、薬害もなく、普及性が見込まれた。

2023年度 農薬展示圃調査表 成績概評

総合評価 A: 農薬の効果、薬害の面で普及上問題が無い。 A*: 病害虫無発生につき効果の判定はできなかったが、薬害の面で普及上問題が無い。
B: 普及にあたって更に検討する必要がある。 -: その他(判定できない)

種類	農薬名	対象作物 (栽培形態)	対象病害虫	圃場場所	担当地区営農連 絡協議会等	指導機関	総合 評価	備考
虫	アレス箱粒剤	稲 (箱育苗)	イネスズウムシ、 ウンカ類、イナゴ 類	吉野町山口	吉野地区	南部農林	A*	イネスズウ ムシ未発生
除	イッセンジャンボ	移植水稻	一年生雑草、 マツバイ、ホタル他	奈良市	奈良地区	北部農業	A	
除	イッセンジャンボ	移植水稻	一年生雑草、 マツバイ、ホタル他	桜井市	桜井しき	中部農林	A	
除	シンゲキジャンボ	移植水稻	一年生雑草、 マツバイ、ホタル他	宇陀市	宇陀地区	東部農林	A	
除	シンゲキ豆つぶ250	移植水稻	一年生雑草、 マツバイ、ホタル他	吉野町	吉野地区	南部農林	A	
除	ルンバ薬粒	移植水稻	一年生雑草、 マツバイ、ホタル他	宇陀市	宇陀地区	東部農林	A	
除	ウイードコアジャンボ SD	移植水稻	一年生雑草、 マツバイ、ホタル他	桜井市	桜井しき	中部農林	A	
除	バサグラン・エアー 1キロ粒剤	移植水稻	一年生雑草、 マツバイ、ホタル他	吉野町	吉野地区	南部農林	A	
除	バスタ液剤	水稻 畦畔	一年生雑草、 多年生雑草	吉野町	吉野地区	南部農林	A	
菌虫	ピタイチ	いちご	ハダニ類	奈良市大和田 町	奈良地区	北部農業	A	
菌	スクレアフロアブル	いちご	うどんこ病	奈良市横井	奈良地区	北部農業	A	
菌	スクレアフロアブル	いちご	うどんこ病	桜井市上ノ庄	桜井しき	中部農林	A*	うどんこ病 未発生
菌	スクレアフロアブル	かき	炭疽病	五條市車谷町	五條地区	南部農林	A	
菌	スクレアフロアブル	かき	炭疽病	五條市霊安寺 町	五條地区	南部農林	A	
虫	テッパン液剤	かき	ミカンキイロ アザミウマ	五條市野原町	五條地区	南部農林	A	
虫	トランスフォーム フロアブル	かき	カイガラムシ 類	五條市御山町	五條地区	南部農林	A	

2022年度 農薬展示圃調査表(未了分) 成績概評

種類	農薬名	対象作物 (栽培形態)	対象病害虫	圃場場所	担当地区営農連 絡協議会等	指導機関	総合 評価	備考
虫	ダブルシューターSE	いちご	ハダニ類	奈良市大和田 町	奈良地区	北部農業	A	

生態と防除研究会 第9回研究集会

奈良県病虫害防除所 浅野 峻介

当研究会の目的は各地域の病害対策に従事する技術者の経験を共有し、議論することで今後の課題解決に繋げることであり、今年で10周年になる。対策すべき病害の生態に焦点を当てることで、効率的な防除のポイントが明確になる。生態に基づく対策の構築方法は、あらゆる病害に応用できるであろう。様々な地域の取り組みが紹介され、議論も活発に行われた。その概要を以下に示す。

「イネもみ枯細菌病菌はイネを株ごと腐敗させる」

鳥取県鳥取農業改良普及所 長谷川優氏

2005年に水稻本田でのイネもみ枯病菌による腐敗枯死が初めて確認された。移植14日後から症状が確認されたものの、前例がなかったことから当初は除草剤や植え傷みが疑われた。育苗期のカスガマイシンが有効であった一方で、イプロナゾール・水酸化第二銅の効果は低かった。なお、病原性には菌株間差があり、本田での枯死を引き起こさない菌株が優占していた。本田で枯死を引き起こす菌株の育苗期での病原性は低く、褐変が生じる程度であった。育苗期に病害が発生した場合は田植え後には病勢が衰えるのが一般的であるが、その例外であり緻密な観察が原因の解明と対策の提示に繋がった。

「温暖化によりリンゴ黒星病の防除は変わるのか？」

岩手県農業研究センター 猫塚修一氏

2015年以降にリンゴ黒星病の発生が増加している。その要因として温暖化に伴う感染好適日の前進による防除時期の適期からの乖離が挙げられた。第1次伝染源となる子のう胞子の感染好適日は従来の開花直前期から花蕾着色期に遷移していると考えられた。防除暦の作成時には薬剤の選定が主題になりがちだが、気候の変化による重点防除時期の変化を察知することも重要となる。

「コムギ黄斑病の生態解明と防除戦略」

山口県農林総合技術センター 吉岡陸人氏

品種の転換に伴い、2016年にコムギ黄斑病が多発した。発生事例のほとんどない病害であったため、病原菌種の特定制から対策は始まった。伝染環の解明は現地圃場での病原菌の動態を観察することで実施した。年内に子のう胞子が形成され、春期に分生子による2次伝染が生じると考えられ、これらを防除時期とした。薬剤散布の労力を最小限にするため、除草剤との混用を提案した。新たに問題となる病害には各地域での発生生態が明らかでないことが多く、基礎的な情報の収集から防除対策を明示した好事例である。

登録農薬失効情報 (2023.9.1~2023.11.30)農林水産消費安全技術センター(FAMIC)の登録農薬失効情報より抜粋

登録番号	農薬の種類	農薬の名称	申請者名 (略称)	失効日 月/日/年
殺虫剤				
3233	DEP乳剤	ディブテレックス乳剤	イビール	11/2/23
13388	DMTP乳剤	日農スプラサイドM	理研グリーン	10/23/23
23020	DMTP水和剤	クミアイスプラサイド水和剤	クミア化学	11/1/23
23021	DMTP乳剤	クミアイスプラサイド乳剤40	クミア化学	11/1/23
23022	DMTP乳剤	JASプラサイド乳剤40	全農	11/1/23
23023	DMTP水和剤	JASプラサイド水和剤	全農	11/1/23
23231	DMTP乳剤	ブロードハンター乳剤	クミア化学	11/1/23
23639	DMTP乳剤	スプラサイドM	理研グリーン	10/23/23
殺虫殺菌剤				
19545	フィブロニル・プロベナゾール粒剤	オリゼメートプリンス粒剤	三井化学㈱ & ライオン	11/15/23
21494	クロチアニジン・プロベナゾール粒剤	Dr. オリゼダントズ箱粒剤	三井化学㈱ & ライオン	11/15/23
22417	ジノテフラン・プロベナゾール粒剤	明治Dr. オリゼスタークル箱粒剤	三井化学㈱ & ライオン	11/15/23
23077	ジノテフラン・プロベナゾール粒剤	明治Dr. オリゼスタークル箱粒剤OS	三井化学㈱ & ライオン	11/15/23
殺菌剤				
11056	ストレプトマイシン液剤	ヤシマストマイ液剤20	協友アグリ	11/15/23
19008	トルクロホスメチル粒剤	グランサー粒剤	住友化学	9/7/23
19287	チオファネートメチル・ホセチル水和剤	グラコン水和剤	日本曹達	11/30/23
19386	フラメトビル・プロベナゾール粒剤	明治オリゼメートリンバー粒剤	三井化学㈱ & ライオン	11/15/23
19508	ジメトモルフ・マンゼブ水和剤	フェスティバルLM水和剤	北興化学	10/10/23
22230	ホセチル水和剤	日曹グリーンピセットDF	日本曹達	11/30/23
23480	ダゾメット粉粒剤	ホクコーガスタード微粒剤	北興化学	10/10/23
除草剤				
7842	DBN粒剤	ホクコーカソロン粒剤2.5	北興化学	11/6/23
8089	アイオキシニル乳剤	アクチノール乳剤	イビル	11/2/23
17504	ピリブチカルブ・プロモブチド・ベンゾフェナップ水和剤	東ソーシーゼットフロアブル	日本曹達	11/24/23
18337	テニクロール・ピラゾキシフェン・プロモブチド水和剤	トクソワンベストフロアブル	イスアイス	9/1/23
19188	シハロホップブチル粒剤	クリンチャー粒剤	コルポ・ジャパン	9/13/23
21436	ベンスルタップ・イマズスルフロン・カフェンストール・ダイムロン粒剤	ショウリョクジャンボ	住友化学	11/2/23
21569	イマズスルフロン・ダイムロン・フェントラザミド・プロモブチド粒剤	ビッグシュアエース1キログラム粒剤	イビル	10/31/23
22199	フェントラザミド・プロモブチド・ベンスルフロメチル水和剤	クサオウジHフロアブル	三井化学㈱ & ライオン	11/30/23
22200	オキサジアルギル粒剤	キルクサ1キログラム粒剤	クミア化学	9/12/23
22353	シメトリン・ピリミノバックメチル・ベンフレセート・MCPB粒剤	クミメートSM1キログラム粒剤	クミア化学	9/12/23
22457	フェントラザミド・プロモブチド・ベンスルフロメチル水和剤	MICクサトリ-DXフロアブルL	三井化学㈱ & ライオン	11/30/23
22740	フェントラザミド・プロモブチド・ベンスルフロメチル水和剤	MICクサトリ-DXフロアブルH	ムン加ア & 化成	11/30/23
22828	イマズスルフロン・フェントラザミド・プロモブチド粒剤	マクダス1キログラム粒剤	レノバ	9/25/23
22848	ピラゾレート・プレチラクロール・メソトリオン粒剤	カミオンMX1キログラム粒剤	シンジエント	11/27/23
22849	ピラゾレート・プレチラクロール・メソトリオン粒剤	MICカミオンMX1キログラム粒剤	三井化学㈱ & ライオン	11/22/23
23117	オキサジクロメホン・ピラクロニル・ピラゾスルフロンエチル・ベンゾピシクロン水和剤	シリウスエグザ顆粒	日産化学	11/2/23
23297	ピリブチカルブ・プロモブチド・ベンゾフェナップ水和剤	協友シーゼットフロアブル	協友アグリ	10/18/23
23539	フェノキサスルホン・プロモブチド・ベンスルフロメチル剤	クミスターL豆つぶ250	クミア化学	11/17/23
23543	フェノキサスルホン・プロモブチド・ベンスルフロメチル剤	アルファプロLジャンボ	三井化学㈱ & ライオン	11/30/23
23544	フェノキサスルホン・プロモブチド・ベンスルフロメチル水和剤	クミスターフロアブル	クミア化学	11/17/23
23609	プロピリスルフロン・プロモブチド粒剤	マキビシZジャンボ	住化農業	9/25/23
23610	プロピリスルフロン・プロモブチド水和剤	マキビシZフロアブル	住化農業	9/25/23
23611	プロピリスルフロン・プロモブチド粒剤	マキビシZ1キログラム粒剤	住化農業	9/25/23
23746	イブフェンカルバゾン・イマズスルフロン・プロモブチド粒剤	オーリックジャンボ	住化農業	9/25/23
23756	イブフェンカルバゾン・イマズスルフロン・プロモブチド粒剤	オーリック1キログラム粒剤	住化農業	9/25/23
23757	イブフェンカルバゾン・イマズスルフロン・プロモブチド水和剤	オーリックフロアブル	住化農業	9/25/23
23786	イマズスルフロン・ピリミノバックメチル・プロモブチド粒剤	オデゴ1キログラム粒剤	住化農業	9/25/23
23872	プロピリスルフロン・プロモブチド・ベントキサゾン水和剤	クレバールZフロアブル	住化農業	9/25/23
23874	プロピリスルフロン・プロモブチド・ベントキサゾン粒剤	クレバールZ1キログラム粒剤	住化農業	9/25/23
23876	プロピリスルフロン・プロモブチド・ベントキサゾン粒剤	クレバールZジャンボ	住化農業	9/25/23
24160	フェノキサスルホン・プロモブチド・ベンスルフロメチル剤	アルファプロL豆つぶ250	三井化学㈱ & ライオン	11/30/23